

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社モルテン千代田工場

(2) 事業所の所在地

広島県山県郡北広島町川東氏神3293

(3) 業種

3113 自動車部分品・付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準年度とし、令和2年度から令和4年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成19年度	目標年度		計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))								
		上段:見込量 (b)	下段:削減率 (c)	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー起源CO ₂		0.0		平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
非エネルギー起源CO ₂		0.0		平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
メタン		0.0		平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
一酸化二窒素		0.0		平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
その他温室効果ガス		0.0		平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
温室効果ガス実排出量総計		0.0		平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
温室効果ガスみなし排出量												
実績に対する自己評価												

※ 削減率(c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成19年度	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))							
		上段:目標 (b)	下段:削減率 (c)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	年度	年度			
エネルギー起源CO ₂	1.45	1.25		令和2年度	令和3年度	令和4年度	年度	年度			
		-13.8		-28.3	100.0	100.0	100.0	100.0			
非エネルギー起源CO ₂		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
メタン		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
一酸化二窒素		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
その他温室効果ガス		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
温室効果ガス排出量総計		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
エネルギー消費原単位 (原油換算kt)	0.6661	0.5256		令和2年度	令和3年度	令和4年度	年度	年度			
		-21.1		29.7	100.0	100.0	100.0	100.0			
実績に対する自己評価											

※ 削減率(c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = (a) - (d) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	エネルギー起源CO2排出量を原単位で前年度比2.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型電気機器への更新 ・高性能インバータ機器への更新 ・休憩時間の消灯の徹底
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。